

(件名) 東方経済フォーラムへの参加について

9月2日～4日、ウラジオストクで第6回東方経済フォーラムが開催されました。東方経済フォーラムは、極東地域へ海外からの投資を促進させることを主目的とした国際会議であり、ロシア極東地域の更なる発展について議論がなされます。コロナウイルス感染拡大の影響により2020年の開催は中止されたことから今回は2年ぶりの開催となり、前回と比べ参加者が半分以上となりましたが、オンラインを含めて58カ国4,000人以上の政府関係者、経済人等が参加しました。

サハリン事務所は前回2019年の東方経済フォーラムに参加しており、今回も現地において、ロシアに駐在する日系企業や日本と取引のあるロシア企業などと情報交換をしております。

今回のフォーラムでは、9月3日に、日露ビジネスセッションがオンライン形式で開催され、「北極圏の開発」、「都市整備」、「気候変動」の分野をテーマとして日露双方のパネリストがそれぞれ取組を報告しました。

また、会場の一角には極東地域を紹介するパビリオンが設置され、「北海道とロシア連邦極東地域との地域間協力発展プログラム」を締結しているサハリン州政府、沿海地方政府、ハバロフスク地方政府も展示コーナーを設置しており、サハリン州政府はカーボンニュートラルの取組について、沿海地方政府は当地の歴史について、ハバロフスク地方政府は医療の取組についての紹介がなされていきました。

サハリン事務所職員は日本への一時帰国の際にコロナワクチン接種を終え、感染対策を万全にした上で活動範囲を広げております。今回は赴任以来、初めての出張でしたが、これまでメールや電話だけだった極東地域の担当者と名刺交換や情報交換をし、人の想いを直に感じられる直接交流の重要性を再認識しています。

今後とも十分な感染対策を行ったうえで、団体・企業訪問や視察を行い、現地の「生」の情報収集・情報発信に努めていきます。

日露ビジネスセッション



サハリン州政府のパビリオン



沿海地方政府のパビリオン



ハバロフスク地方政府のパビリオン

